

第2回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会（報告）

日時 令和5年2月9日（木） 午後7時00分～

場所 下仁田町自然史館・ミーティングルーム

所 属	氏 名	出・欠	所 属	氏 名	出・欠
下仁田ジオパークの会 鉄山研究会	大河原 順次郎	出	下仁田ジオパークの会	松原 信也	欠
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出	下仁田ジオパークの会	横田 孝三	出
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	欠			
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	欠	協議会事務局	赤岡 明	出
下仁田ジオパークの会 荒船風穴解説員	堀口 和利	欠	協議会事務局	関谷 友彦	出

オブザーバー参加：里見立夫（下仁田町教育長）

1 開 会

2 報 告

3 協議事項

（1）下仁田ジオパーク総合パンフレットについて

現在、3つのストーリーを同梱する形で配布しているパンフレットの次年度改訂に向けて検討し、下記の意見が出されました。

・観光タクシーについて

現在料金がどんどん変わっているので、料金を入れるより、QRコードなどでHPに誘導するようにしてはどうか？

・モデルコースについて

自然史館に来るコースがないのは勿体ない。

コース①、②がストーリーⅡ、コース③、④がストーリーⅢに対応しているのに、ストーリーⅠのコースがあったほうがよいのではモデルコースのコーナーにも簡単な写真や説明書きが欲しい。

中之岳神社駐車場は正式名称県立公園第一駐車場

・大地の恵みコーナーについて

「見」「癒」「体」「食」のところは、小さくても送り仮名がないと分かりづらい。

「体験」はコンニャク手作りをに入れてほしい。

「見」の「自然史館見学」は写真が分かりづらいので差し替えた方がよい。

町の宿泊リスト（住所、連絡先など）は必要。

・地図について

道の端に「至・・・」を付けないと分かりづらい。

山の漢字や場所の名前がところどころ現在配布のパンフと異なる。

・拠点施設について

拠点展示施設という表記はとる。

下仁田町自然史館とジオパーク下仁田協議会を両表記する。

・レイアウトについて

ストーリーの凡例の色が3色似た色で区別しにくい。地図上にも色別で表記する

表紙をめくるときに、ストーリー1が見やすくなることを考慮すると、全面的に広げたときに、ストーリー1だけが上下反転してしまうので、全面的に広げたときを優先にして修正した方がよい

モデルコースの表記が大きく、タクシーのスペースが見づらいなど、それぞれのパートの大きさのバランスが悪い。

A4のパンフレット、ガイドブックについてはここには不要。その分モデルコースに写真を加えるなど検討する。

⇒以上の意見を踏まえて、再度事務局でレイアウトの修正をし、令和5年度が始まった段階で、業者との相談を始めることにしました。

(2) ジオパーク学習会『エコと無形遺産』について

前回審査のアドバイスにもあったように、「生態系や無形文化遺産」の学習会について、別紙のとおり提案しました。

当初、ガイドだけでなく町の人たちに幅広く呼び掛ける講座として検討していましたが、公民館事業「下仁田学」との兼ね合いもあり、趣旨を変更し、ガイドが自分たちで調べたテーマを発表しあうような学習会ということで提案しましたがこの案について、出された意見は次のとおりです。

・第1期の2回目ヒルの勉強会について

ヒルについては県も検討している。特に、ジオの会から要望を出し県会議員さんから県に打診していただいている。県の担当の人も情報をもっているの聞いてみたらどうか

・第1期の4回目お祭りの勉強会について

お祭りの伝道師会の人たちが、町の小学生・中学生に講義をしたこともあり、発表資料なども準備してあるので、その人たちに話をしてもらい、その仲間の人たちにも勉強会に参加してもらうよう呼びかければ、輪がひろがるのでは？

・主催はガイド部会ではなく、協議会の主体性をもつべきでは？

得意な分野のある専門部会員もいるので、ガイド部会だけでなく協議会全体の活動とするのがよいのでは？（例えば、野生動物に関わる事なら産業観光部会の神津牧場に詳しい方もいらっしゃる。）一部のガイド部会だけでなく、提供できる人を幅広く募集できることで、今後のガイドになってくれそうな人も見つけられるかもしれない。

⇒第一期のうち第1回（下仁田のエコの魅力）、第3回（下仁田の野生生物）、第4回（下仁田のお祭りについて）はできそうな見通しはあるので、今後のテーマ、学習会の担当は後日検討していくことになりました。

4 次回の部会開催について

令和5年 6月～7月頃を予定